

graduate × tutor TALK SESSION

ゼミを
めぐる

卒業生vs教員 熱いエトセトラ

卒業生代表

小中 祥子さん (2002年度卒業)
株式会社JALナビア札幌勤務

Shouko KONAKA

ヒップホップとかエミネムとか いまもゼミ生にはいろいろ 勉強させてもらっているよ…(中村)

中村 メールではいろいろ連絡を取っていましたが、会うのは3年ぶりですね。

小中 はい。久しぶりに大学に来てみたら、学生がとても若く見えます。「自分もあんな風だったのかな」と(笑)。ところで先生、去年の夏、日本ハムファイターズのマーチングバンドの一員としてニュースにとり上げられたのは見てくれましたか？

中村 もちろん。元気で頑張っているなあと思いましたよ。

小中 中村ゼミに入ったのは音楽、なかでもアメリカのポピュラー音楽を研究したいと思ったからです。高校時代も吹奏楽部でパーカッションを担当していましたし。

中村 最初はマーチングについて調べていたけど、だんだんと「ウッドストック」へと移っていったね。ゼミ論文のテーマは「ウッドストック・フェスティバルはなぜ伝説となっているのか」。

小中 はい。60年代に愛と平和をテーマに開かれた野外ライブ「ウッドストック」に象徴される

当時の若者の精神について、以前から雑誌などで見て、マーチングと同じくらい興味があったんです。

中村 ゼミはアメリカ文化についてならテーマは自由。最近では学生たちがヒップホップとかいろんなテーマを選択するので、私も勉強させてもらっているよ。エミネムは「8 Mile」を見てようやく少しわかったかなあ…。

小中 先生も大変ですね。ちょっと前のことなのに、ゼミのことを思い出すと懐かしいですね。みんな仲が良かったですし。

中村 女子9人、男子1人。コンバもよくやりましたね。

小中 先生はお酒がお強くないのに、よく私たちに付き合ってください。またみんなで集まりたいですね。

中村 君たちの時のメンバーは東京に行った人が多くてなかなか会えないけど、できたらいいね。そうそう、アメリカ人と結婚してアメリカに永住する人もいるんだよ。

問い合わせの内容はさまざま 日々勉強です…(小中)

中村 ところで、予約センターの仕事は順調？

小中 はい、頑張っています。全国のお客様からの航空券予約やお問い合わせの電話に、声だけでお応えする仕事なので、声の調子を崩さないよう体調管理には人一倍気を使っています。

中村 時刻表などは覚えていたりするの？

小中 全てとは言えませんが、予約の多い千歳—羽田間は頭に入っていますね。

中村 問い合わせ内容もさまざまでしょう？

小中 機材や手荷物に関する問い合わせなども多いので、どんな質問がきても対応できるよう毎日が勉強です。ホームページをご覧になりながら電話をかけてこられる方も多いので、こちらも把握しておく必要がありますし。

中村 札幌のお客様からの電話を受けるの？

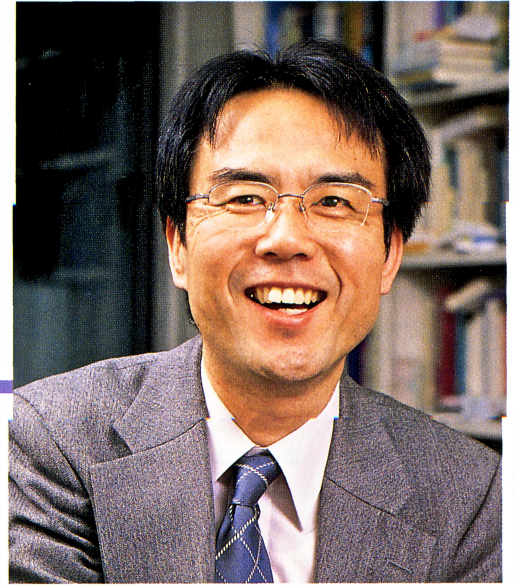
小中 全国共通のフリーダイヤルなので、各地からの電話を受けます。最後に「札幌の小中が承



当時のゼミ生の卒業アルバム写真。
前列右端が小中さん、中央が中村先生。

卒業して3年。

キャンパスの学生がとても若く見えるという小中さんも、
中村先生とお話するうちにゼミ生時代に戻ったようです。



中村 敦志

ゼミのテーマは
「アメリカ文化論」

教員代表

甲南大学文学部卒業。同大学院人文科学研究科英文学専攻修士課程修了。同博士後期課程単位取得満期退学。1987年より本学へ。

A x Atsushi NAKAMURA

りました」と伝えると驚かれることがありますね。電話をかけてこられるお客様は、まさか札幌につながっているなんて思いませんから(笑)。私も沖縄の離島のお客様からの電話を受けたときには驚きました。でも一番驚いたのは、大学で同じクラスだった人からの電話を受けたこと。すぐにわかって、あ!!と思いましたが、もちろんそれを出さないように対応しました。

中村 プロですね。小中さんは学生の時から落ち着きがあってしっかりしていたから、まったく心配いらない。話し方もはっきりしているから、電話対応の仕事に向いているね。

小中 社内で選ばれて、NTT主催の電話対応コンクールに出場したこともありますよ(笑)。

休日返上で勉強

総合旅行業務取扱管理者を取得しました…(小中)

中村 今の会社の試験を受けたきっかけは、旅行業界に進みたかったからだったよね。

小中 はい。在学中から「国内旅行業務取扱管理者」の資格を取得し、2年の時にはカナダへ海外研修を経験しました。英語を活かすことも

できるのではと思いJAL ナビア札幌を受けました。今年は「総合旅行業務取扱管理者」にも合格したんです。

中村 合格率の低い難関資格ですから大変だったでしょう。おめでとう。

小中 休日は引きこもって、ひたすら勉強しました。もともと世界地理が好きだったので、自分の世界を広げたいと思ったんです。

中村 勉強したことを生かせる職場ですね。小中さんは目標に向かって着実に歩いていく、そういうところがあるよね。

小中 ありがとうございます。でも大学時代に身に付けた語学は活かしていますが、もっと勉強しておけばよかったとも思っています。2年のときのカナダ研修は1ヵ月であっという間でした。帰ってきたときには「半年いても良かったかな…」と。SGUを選んだ理由の一つは留学制度が充実していることでしたし、もったいなかったですね。

中村 小中さんが言う通り、うちの留学制度の内容は充実していると思いますね。ゼミ生にも留学を勧めていますよ。

小中 私たちのときも10人中8人は留学・研修に参加していましたよね。

中村 ゼミ論文のテーマを発展させて、実際にアメリカの大学へチアリーディングをしに行った人もいましたね。彼女は今でもチアをしているようです。

小中 それは素敵ですね。そういえば、ゼミのテーマは「アメリカ文化論」なのに、私が研修先を選んだのはカナダでしたね。

中村 私のゼミが「カナダ文化論」だったらぴったりだったんだけどね。でも冗談ではなくて、ゼミ生が、同じ英語圏ということでイギリスやオーストラリアを研究テーマにしてしまうことが最近の悩みかな(笑)。せっかく学生が自主的に選んだテーマだから、なるべくその方向を生かしてあげたいと思っているんだけど。

小中 先生は優しいですから。そのおかげで私は楽しいゼミ生活が送れたんですね。

